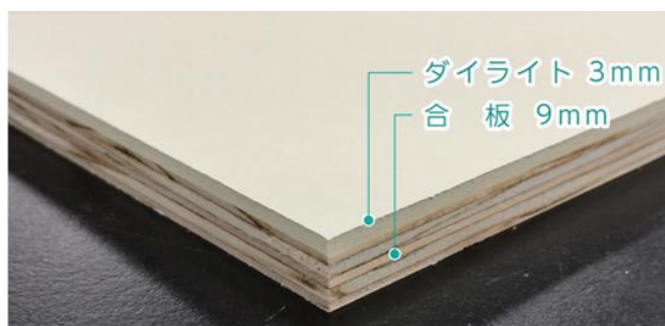


不燃性能とビス保持力を両立した壁下地材 『不燃ダイライト複合板 BK（壁下保くん）』を発売

～公共・商業建築分野向けに、不燃下地材の新たな選択肢を提案～

DAIKEN株式会社（東京都千代田区、社長：清洲忠洋）は、不燃性能を持つ壁下地材として、ビス保持力を備えた不燃認定取得製品『不燃ダイライト複合板BK（壁下保くん）』を発売しました。商業施設や公共施設など、内装下地に不燃性能が求められ、かつ壁面への造作物の取り付けニーズがある空間に向けて、新たな選択肢を提案します。



『不燃ダイライト複合板 BK（壁下保くん）』



施工イメージ

【背景・発売意図】

近年、商業施設や公共施設をはじめとする非住宅建築分野では、内装制限や防火上の観点から、壁下地材にも不燃性能が求められるケースが増えています。一方で、壁面には手すりや棚、TVモニターなどの造作物を取り付けたいというニーズも多く、設計・施工現場では、不燃性能に加え、ビス保持力や施工性を備え、かつ安定的な調達が可能な下地材が求められています。

こうしたニーズに対応するため、当社は独自素材『ダイライト』と国産合板を組み合わせた『不燃ダイライト複合板BK（壁下保くん）』を発売しました。本製品は、国土交通大臣不燃材料 NM-5828(2)を取得しており、石膏ボード2枚張り構成の1層目など、不燃性能が求められる壁下地^{※1}として使用できます。また、当社試験条件下では、石膏ボード2枚張りの場合と比較して、優れた耐荷重性能を確認しています。加えて、『ダイライト』の特長を活かした加工性と、設計・施工現場での使いやすさにも配慮しました。さらに、在庫品として展開することで、安定供給ニーズにも対応しています。

当社はこれまで、『ダイライト』を住宅向け耐力面材として販売してきたほか、不燃壁材やルーバー材などへも展開してきました。今後も市場ニーズに応える製品開発を通じて、『ダイライト』の用途拡大と、公共・商業建築分野における提案力の強化を図ってまいります。

※1: 本製品はクロス壁紙の下地としては使用できません。

◇『不燃ダイライト複合板BK（壁下保くん）』の特長

1、『ダイライト』による不燃性・加工性

基材には、ロックウール(鉱物繊維)やシラス(火山性ガラス質材料)などを原料とする当社独自の無機素材『ダイライト』を使用しています。不燃材料として個別認定を取得しているほか、手のこなどで切断でき、現場での加工性にも配慮しています。



2、確かなビス保持力

石膏ボード2枚張りの場合と、本製品と石膏ボード1枚張りの場合で耐荷重試験を実施した結果、石膏ボード2枚張りの破壊荷重が32kgであったのに対し、本製品と石膏ボード1枚張りでは破壊荷重が113kgとなり、約3.5倍の耐荷重性能を確認※2しました。手すり※3や収納棚、TVモニターなど、壁面への造作物取り付けを想定した下地材として提案可能です。

<測定条件> Φ4×L40mmのタッピングビス3本でフックを壁面へ固定し、破壊荷重を測定。

※2: 試験結果は測定値であり、保証値ではありません。

※3: DAIKENシステム手摺35型の下地材として十分な取り付け強度があることを確認済み。



3、国産材を活用

合板部分には国産合板を使用しているため、国産材の活用にも貢献します。

【製品仕様】

製品名	『不燃ダイライト複合板BK(壁下保くん)』
サイズ	12mm厚さ、910mm×1,820mm
重量	約28kg/梱(14kg/枚)
各種認定	国土交通大臣不燃材料 NM-5828(2)
価格(税抜)	80,000円/梱、2枚入り(3.31㎡)

【販売目標】 3億円/年 (2026年度)

【記事に掲載する製品のお問い合わせ先】

DAIKEN株式会社 お客様センター 0120-787-505

以上

※ここに掲載されている情報は発表時のものであり、ご覧になられている日と情報が異なる場合があります。あらかじめご了承ください